

# 徒然なる日記121016～食べるこ と～

E-book推進協会

## 食べること

---

人間が生きるのに必要な行為のうち、最も大事なことの1つは食べることだろう。とりあえず、何かを食べて、栄養を得て、日々栄養を得続ける。

いつからか食べられるのが当然な時代になった。そして、いつからか栄養素よりおいしさが優先されるようになった。

おいしさって何だろう。腕利きのシェフが作ればおいしいだろう。けど、誰と食べるかでおいしさは変わる。不思議だ。どんなつましい食事も、大事な人や気の置けない仲間と食べればごちそうになる。

と、ここまでは全て日本国内のお話。外に目を向ければ全然そんな悠長なことは言ってもらえない。今日食べるものにありつけるかすら分からない人も多い。そう言われて久しいが状況は悪化の一途をたどる。

そういう矛盾を考え出すときりがないが、いつか解決されると思う。国際NGOや国連WFPが頑張っているから。すばらしい活動だと思う。

高く評価するが、自分自身は加わらない。きっと将来、そうした食糧問題を彼らが解決してくれるだろう。でも、自分が生きている間に解決するかというと、難しいのではと思う。だから、自分自身は加わらない。密かに応援する。

自分の一生の間にできることは限られている。何に時間を使おうか。そうした問題が解決した先にある人間の未来を考えたい。果てしない空想であり、果てしない挑戦だ。

一人きりで食事しながらそんなことを考えていた。

2012年10月16日記す